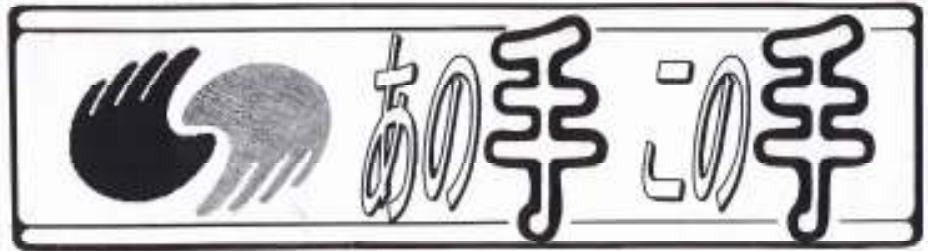


あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



市民活動も共育で育っていきましょう。



大和市民活動センター[拠点やまと] 第28号 2009年5月20日発行



屋久島西部照葉樹林(鹿児島県)

絵と文＝ペンネーム/ゆきの(大和市役所職員)

今回の作品は、2005年のもので、フォトエッチング(フォトインタリオ)という技法で、写真をもとに作成した版画作品です。女子美術大学のアートセミナーで、後藤富美子さんに指導を受けて作成したものです。趣味の写真を版画に使う。この技法を大学で教えているのは、日本では後藤先生以外にはいないと思います。鹿と猿が暮らす、屋久島西部照葉樹林です。観光コースで行く森ではないので、自然の精を感じることができる森です。

屋久島が世界遺産になってから、入山者が年間10万人を超え、山中でのし尿の処理が問題になっている、と5/5(火)の朝日新聞の記事を読み、自然を保護するために、人として自覚ある行動が必要であると思った。

(石川美恵子)

大和市民活動センターのホームページは  
「いつも新鮮」を心がけています。  
「あの手この手」も「センター」のホームページ  
でご覧いただけます。

URL: [www.kyodounokiyoten.com](http://www.kyodounokiyoten.com)

<同封されているご案内>

第②②回 6/27(土)実施の連続共育セミナー「困ったなー、そんな時」のご案内

# こうすればうまくいく！ 市民事業・協働事業

～市民活動者と行政職員の“二刀流”が斬る～

講師：庄嶋孝広(しょうじまたかひろ)さん

市民社会パートナーズ代表

NPO 法人おおた市民活動推進機構 副代表理事

千葉県四街道市任期付職員



平成 21 年 4 月 22 日(水)午後 2 時より、保健福祉センター1Fホールにおいて「市民活動情報交換会'09」が開催されました。今動いている協働事業の振り返りの後、講師の庄嶋さんからお話がありました。以下は庄嶋さんからのメッセージです。

- ★協働のポイントはそれぞれにメリットがあることです。どんな事業にも言えることですが、協働をする上で大切なことは、目的を共有することです。何のために協働を行うかということが、お互い説明できなければなりません。メリットというのはそれぞれ違っていてもいいと思います。何が自分にとって得になるのか、得を与えることができるのかということは、協働事業を行う上で、そこを考えて事業を組むのは大切なことではないかと思えます。
- ★異なる主体同士が協力し合うことで、地域社会を変えていく。これが協働です。
- ★市民同士の間でネットワークを広げて、基盤を作ってから行政に提案をするという方法もあります。

- ★目標とすることを伝えるにはハードルを下げるのが重要なポイントです。ハードルを下げ、そこに参加したことでこんなことを学ぶことができた、気付くことができたということも地域を変える、社会を変える上で大切なことです。
- ★協働とは決して市民団体と行政との 2 者間のものではありません。社会にインパクトを与えるためにはより多くの人に関心を持ってもらえるような事業を生み出すことが一番のメッセージです。



本を購入しました。



表紙

## ●「ヒア・バイ・ライトの理念と手法」

～若者の自立支援と社会参画を進めるイギリスの取り組み～

特定非営利活動法人子ども&まちネット[企画編集] 奥田睦子[編著/監修]  
吉岡美夏・小島 紫[訳] 萌文社 定価 2,370 円

書名の「ライト」は権利の意。子どもの意見を子どもは権利の主体者であるという視点で意見を聴くということが書名全体の意味になります。英語では「Hear by Right」と綴(つづ)ります。日本の子ども・子育て支援に欠けていたのはこれだった！本の帯にあります。2008 年版に基づいて日本語出版にこぎ着きました。「組織が変わった」「大人が変わったね」「地域全体が子ども・若者を中心にして、生きいきしてきた」というイギリスでの事例が具体的に紹介されています。

直接、子どもや若者の課題に直面し、日々活動している市民活動団体には第 1, 2 章が、子どもや若者の社会参画を今の日本の状況のなかでどう基本的に捉えたらいいのかを押さえたときは第 3 章の<座談会>「日本における子ども・若者の参画の可能性を考える」が役立つに違いありません。他に関連書籍として、2 冊の書籍も購入しました。

## ●「子どもの参画」

～コミュニティづくりと身近な環境ケアへの参画のための理論と実際～

ロジャー・ハート[著] IPA 日本支部[訳] 木下 勇/田中治彦/南 博文[監修]

## ●「子ども・若者の参画」

～R.ハートの問題提起に答えて～

子どもの参画情報センター[編]

5月6日(水・振休)雨

6カ月の絢人(けんと)クンを抱いて入ってきたパパは育児休暇で充分子育てを楽しんだSさんとその奥さん。「実践編集ミニ塾」で勉強中のスタッフの誰の顔も満面の笑顔で絢人クンに注目。「かわいい！」の声、声、声。子どもって、こんなにもやさしい気持ちになれる存在なんだ、と改めて納得。おしなべて子どもは大切にされるべき存在なのに、近頃は悲しいニュースが多いのはなぜ？と疑問の日々です。

絢人クン



「センター」の書籍をご活用ください。

書籍コーナーは「センター」のドアを開けるとすぐ左側の書架に並んでいます。また「センター」の Web-Site を開き、上段バーの「ストック」をクリックし、[拠点やまと文庫]から分野別になっている書籍を検索できます。「センター」で貸し出し簿に記入し、ご利用ください。

★★★ 大和市民活動センターは、ひきつづき“共育”をキーワードに ★★★  
 [拠点やまと]と市が協働で運営していきます。

第⑳回 共育セミナーは 4/29(水・祝) 14:00～16:00

「大和市民活動センターのきのう・きょう・あした PART3」を開催しました。

はじめに、[拠点やまと]の関根会長から、2008年度は補助金交付団体として市民活動センターを運営。今年度は再び市との協働事業として再スタートすることになった経過説明がありました。いずれの場合も、市民が運営する「協働の拠点」に変わりはなく、“共育”をキーワードに[拠点やまと]もスキルアップしていきたい、と抱負が述べられました。登録団体の専門性を生かして、他の団体に役に立つようなセミナーを年3回くらいは開催していきたいと[拠点やまと]からの提案がありました。

参加した団体からは、どんな団体がどんな活動をしているのかが分からないので、交流会を開催してほしい、との要望が出されました。

8/22(土)13:00～ 勤労福祉会館 3F にて  
 「市民活動団体交流会」を開催します。

お互いの活動について気軽に話し合しましょう。  
 交流からどんな活動が生れるか、ワクワクしてきます。  
 ぜひ、ご参加を！

連続共育セミナーの第㉑回は  
 5月26日(火)15:00～17:00

福祉活動や地域の活動を積極的にされている、大和市高座渋谷の「肉の太田屋」佐藤良雄さんをお招きして、『福祉とわたし』をテーマにお話していただきます。活動のヒントなど共有しましょう。



第4回市民活動団体交流まつり  
**カッコフェスタ'09 盛り上げ隊員募集！**

～ 次号でスケジュール案内をします ～

11月第2週、今年は11月7日(土)・8日(日)が  
 恒例の大和市民活動センターの活動交流まつり  
 「カッコフェスタ」です。

やまと産業フェアと同時開催で大賑わい。

みんなで考え



みんなで準備



色づけはあなたです



今年も楽しく  
 盛り上がりましょう

活動・交流まつり  
 カッコフェスタのシンボル  
 カッコちゃん

「センター」のある日ある時

5月7日(木)雨

なかよし公園の管理委員の川端さんが、公園の中にある“さくらんぼ”を2枝お持ちくださった。ルビーのようにつやつやと輝くような赤い実が美しい。思わずひとつ口にほおぼった。あまーいさくらんぼ。こんなにおいしいさくらんぼを子どもたちに「採ってもいいよ」と言っているとのこと。何と幸せな環境にいる子どもたちかと、うらやましく思った。「センター」にいらした人の「枝になっているさくらんぼを子どもたちに見せてあげたい」と、ふともらした言葉から、話題が広がりました。ちなみに「なかよし公園」のさくらんぼは翌朝にはすべてムクドリに食べられてしまったそうです。

昨年は2日間で2000人以上の来館者でした。  
 あなたの市民活動をアピールする大チャンス。  
 みんなで企画、みんなに参加で楽しいイベントにしませんか？

名付けて”カッコフェスタ盛り上げ隊”

どんなおまつりにするかは、あなたのアイディア次第。

**今年も あの手この手 で盛り上がりましょう！**

皆さんのアイディアをお知らせください。

『やまとっ☆みつけた』

(第71回から第73回までの出演団体)

第71回～音楽でコミュニケーションをとれる町に～

4/21(火)＜桜ヶ丘町おこし実行委員会＞

桜ヶ丘の町を活気ある空間にしようと7人が立ち上り、金比羅神社でフリーマーケットを開催していました。5年間の活動の期間中開催日が、台風にもかかわらず材料を揃えたのでどうしてもやらせてくれと要望のあった焼きそば屋さん。スタッフの皆が心配になりまとめ買いしたのも今は良い思いです。(フリーマーケットは現在行われていません)地域の方々が普段着で来て交流を深めていたようです。これからは桜ヶ丘が中心に音楽を通して集まる場所・魅力のある空間を作りたい。

第72回～基地のある町だからこそ

平和を叫ぼう～

4/28(火)＜ヒロシマから平和を考える会＞

戦争は人間性を否定する最大の暴力です。64年前の悲惨なその日を忘れてはいけません。唯一の被爆国として、平和の大切さ命の尊さを伝えていくべきである。との強い思いで、毎年広島に仲間を送り出している。3人のリクエスト曲は平和を愛する人たちにとってバイブルのような存在の「イマジン」でした。



第73回～迷ったらまず、参加～

5/5(火)＜「このゆびとまれっ!」の参加者＞

出演者 3人は初対面とは思えないくらい和やかな雰囲気、受験勉強真っ只中にいる原崎さん(高校3年生)は受験の話、鴨志田君(大学1年生)はシェークスピアの英語劇を部活でやっていて、12月公演に役者として参加する話を本番直前までジョニーさんを交えての会話が弾んでいました。本番では「このゆびとまれっ!」に参加したキッカケやボランティア活動への思いなどを語りました。いろいろな人とふれあい、助け合える体験は学校や家庭とは違う世界が広がることも語ってくれました。

5月から放送日は第1, 3, (5)の火曜日の9:05～9:50に変更になりました。「ホットスクランブル」は再放送があります。当日の15:00～16:00 22:00～23:00

＜これからの出演団体＞

- 第74回 5/19(火)ひよこの会
- 第75回 6/2(火)憲法九条やまとの会
- 第76回 6/16(火)引地川かわくんだり実行委員会
- 第77回 6/30(火)国際化協会英会話受講者の会

ラジオを聴いたら感想をFAX、メールで[FMやまと]へ。放送中に読まれるかも?

FAX :046-265-2777

E-mail :morning@fmyamato.co.jp

やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた

狭い歩道を犬連れ散歩中、後に自転車の気配で避ける、少年が脇を通り抜け、「ありがとうございます」という。自転車のマナーと礼儀を考えた。(浅見正明)

老若男女でこの社会が成り立っているというとき、さて[拠点やまと]メンバーの平均年齢は? うーん…、「若」が足りないことに気づく。(小杉皓男)

ラベンダーの苗を買いました。花が咲くのを楽しみに世話しています。富良野のラベンダー畑を一度訪れてみたいものです。(中山みゆき)

イベントやボランティア活動の調整、相談をしながら新たな出会いがあったり、身近に協力者がいたり、夏のイベントが楽しみです。(櫻井貞代)

庄嶋さん曰く、市民活動には熱い思いを持つバカ、事務的に支えるカバとPRのうまいチンドン屋の3人の存在がポイントとか。拠点やまとには?(関根孝子)

熱血編集後記



洗った金魚の水槽に水草を入れた。追われた金魚は狭い隅にかたまっている。一匹が草の束をくぐり、10匹以上が一線に続く。きっと若い金魚に違いない。(望月則男)

スタッフも編集について勉強しています。直近のテーマは明朝体とゴシック体。何気なく見ていた出版物も編集目線で見えるようになってきました。(村山真弓)

「愛の反対は憎しみではなく、無関心である」(マザーテレサ)。今、様々な領域で地域の重要性が再認識されている。居住地を中心に「共」の再構築にあたって、住民が「愛」をもって関与する必要があるのではないかと。(松村襄)

流行に敏感な日本人。乗り遅れまいと必死になっている人たちに「市民活動に乗り遅れたらカッコ悪いよ」と、ささやかかけたい。(石川美恵子)

\* 今号の用紙は、緑濃くなる季節に爽やかな活動を、との思いを込めて「若竹色」を選びました。

「あの手 この手」第28号 発行日・2009年5月20日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>  
〒242-0021 大和中央1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788  
e-mail:yamato@ar.wakwak.com  
URL:www.kyodounokyoten.com